

2020 - 2021 会長 吉田克人 幹事 加藤宏治

Vol.13 1829 2020.11.18

吉田会長挨拶

本日の卓話は茅野警察署長の桜井伸一郎様をお迎えして、茅野市における最近の事件の現状についてお話をお願いしています。

よろしく願いいたします。



卓話 「茅野市の事件の現状について」

茅野警察署長  
桜井 伸一郎 様



本日は5つの項目についてお話しをされた。

1. 管内の犯罪発生、検挙状況

刑法犯罪認知件数は昨年比で微増、万引き、器物破損が多くを占める。昨年よりストーカーが増加。

2. 企業の犯罪被害防止対策

建造物侵入・窃盗、業務上横領・職場盗、嫌がらせ等には防犯カメラの設置等で対処する。脅迫・業務妨害録音録画等で証拠保全を図る。クレーマーには毅然とした姿勢で対応する。

3. 交通事故発生状況と防止対策

平成31年、令和元年中の死亡事故は1件、平成30年と比較し減少。本年は3件の死亡事故が発生している。交通事故の特徴として県道では増加、国道では減少。交通事故防止対策として、茅野署の取り組みとしては、秋のてんとう（点灯）虫作戦を実施、日が短くなったので運転者の皆さんには、早めの点灯で他車（者）からの視認性の向上、自分の視認性の向上をさせる。現在、秋の点灯虫作戦実施中で、日の入りの1時間前ころから早めにライトを点灯する。夜間運転はハイビームが基本である。

※別紙幹事報告書

卓 話

【矢崎敏臣会員より講師をご紹介いただきました。】

10年くらい前に茅野警察署生活安全課長でお世話になっており、前職が長野県警の機動隊長で本年3月茅野警察署長として赴任されました。本来なら9月に卓話予定でしたがコロナのため本日卓話を頂くことになりました。

茅野警察署は当クラブと大変関係が深く、茅野警察官友の会に多くの会員がメンバーとして在籍しておりその役員も務めさせていただいています。

また、前茅野市長で当クラブ会員の柳平千代一さんも現在長野県公安委員会で警察行政に深くかかわっております。

現在コロナ下にあって、私たちの身の回りにおいて新しい手口の事件が多発していますので、ぜひ茅野市の現況について教えていただきたいと思います。

ニコニコBOX

人数  
23人  
金額  
48,000円

- ◎吉田 克人会長 桜井伸一郎様をお迎えして。10年ぶりの再会です。本日はよろしく願います。
- ◎田中 淳喜会員 結婚記念日のお花ありがとうございました。
- ◎五味 光亮会員 お花ありがとうございました。
- ◎杉本 浩美会員 結婚記念日の素敵なお花ありがとうございました。
- ◎福田 浩二会員 結婚記念日のお花ありがとうございました。

出席報告

会員数 56名  
出席 43名  
出席率 76%

# ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

横断歩道ルール マナーアップ運動を実施、運転者の皆さんに対し、横断歩道は歩行者が最優先、交差点の右折時には横断する歩行者に注意すること。

ちなみに横断歩行者がいる横断歩道で停止する運転者は、全国で長野県が第一位である。

意外に忘れていないかもしれないことに、車両は横断歩道に接近する場合、横断しようとしている歩行者がいなくても、直前に停止できる速度で進行しなければならない。この場合、進路前方を横断し、横断しようとする歩行者等がいる時は、直前で一時停止し、かつその進行を妨げてはならない。これは道路交通法で定められている。

車と歩行者の事故類型別では、歩行者の半数は道路横断中である。

歩行者の交通死亡事故の歩行状態は、右からの横断な場合が多くとても危険である。

交通事故を起こしやすい人は、拙速・軽率な人、見込みが甘い人、短気な人、自分本位な人であり、焦りと怒りは事故の元である。

## 4. 企業の安全運転管理

車の保有台数の状況により、安全運転管理者を置かなければならない。違反すると罰則がある。

運転時も管理の一環として会社の責任を問われる可能性がある。

安全運転管理者をおかなくてよい場合でも安全運転指導者を置く。罰則はないが指導義務がある。

## 5. 特殊詐欺被害の現状と防止対策

特殊詐欺とは、面識のない不特定のものに対し、電話その他の通信手段を用いて、預貯金口座への振り込み、その他の方法により、現金等をだまし取る犯罪。

県内の被害の認知状況では本年度は増加しており、オレオレ詐欺と架空請求詐欺が全体の 9 割近くを占める。茅野署管内では本年は 5 件で内訳はキャッシュカード詐欺盗、架空請求詐欺および預貯金詐欺である。特殊詐欺については被害者の 98%が知っており、自分は騙されないと考えていた人が 82%であった。

オレオレ詐欺については家族を名乗るだけでなく、警察官、郵便局員、銀行協会職員、家電量販店員などを名乗っている。特に詐欺の捜査にかこつけて「詐欺グループを捕まえた」「あなたの個人情報が出ている」「カードを変える必要がある」などと言って自宅を訪問しキャッシュカードをだまし取る手口が多い。

架空請求詐欺については、オレオレ詐欺の対象が主にお年寄りなのに対し、対象は若者も多く、被害者の 6 割が 10 代から 50 代である。手段はショートメール、はがき、直接電話など様々だが電子マネーや収納代行の悪用もある。

特殊詐欺被害を防ぐには、犯人の電話に出ないための電話機対策と現金・キャッシュカードは渡さない、番号は教えないことである。

電話機対策のハード対策として、留守番電話設定、ナンバーディスプレイ電話、非通知電話着信拒否設定、迷惑電話撃退機器（機能付き電話機）などがある。家庭でできる電話機対策として、留守番電話機能を使って、相手が誰かを確認してから電話に出る、折り返すことを心掛ける。また、ナンバーディスプレイにあらかじめ家族や知人などを登録して、相手が誰か確認してから応答する事と非通知電話着信拒否設定にしておく。

電話機対策のソフト対策として、犯人からの電話を受けない、かけないこと、電話を受けても騙されない、騙されても周囲の人が阻止する。などである。

また金融機関、関係事業所（銀行、信金、郵便局等の金融機関、コンビニエンスストア、ATM 設置店舗、タクシー、JR）と連携し水際対策も行っている。